

実感

理解

実践

エネルギー体験

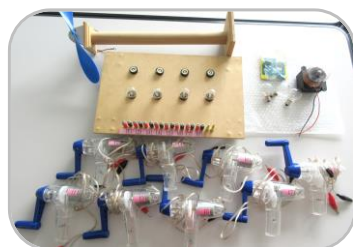
～電気に関する体験を通じエネルギーについて学びます～



講義

見学

体験



ねらい



©でんき保安協会協同事業
「省エネ・創エネ推進パートナーシップ
協定」による取組みです。

発電のしくみとエネルギーの種類を学ぶ

場所 教室・多目的室

季節 通年

人数 クラス単位

所要時間 45分

対象 小3～小6

申込期限 随時

連絡先

帯広市 都市環境部 環境室 環境課 環境保全係
電話:0155-65-4135 FAX:0155-23-0159
E-mail:environment@city.obihiro.hokkaido.jp

関連単元
【例】

学年	科目・領域等	内容
小学校	総合学習	○地球温暖化等に関する学習
	理科	○エネルギーに関する調べ学習
中学校	社会・理科	○地球環境、資源・エネルギー問題

実感

理解

実践

ながれ

授業の一例

導入 体験しよう！

- ① 手回し発電機を使い自分たちで電気をつくろう。
- ② 白熱とLED電球の消費電力の違いを目で見てみよう。

展開 グループ戦クイズ

身近な家電製品のワット数を当てるクイズ。(右上写真)

まとめ じっくり学ぼう！

火力・水力・原子力など様々な発電方法の長所や短所について紹介。日本や世界のエネルギー自給率や、資源には限りがあること。

その他、地球温暖化とCO2排出量についてのクイズなど。



参加者
コメント

- スイッチONで電気がつく、あたり前のことがありがたかった。
- 知らなかったことが知れて楽しい、大人になったら発電の発明をしたい。
- 自分のことだけでなく、これからの地球環境を考えなくてはと思った。

持ち物

- TV (RGB端子付き)

特記事項

- 教室で行う際は、机を移動し動けるスペースの確保にご協力ください。
- 学年や人数、時間に応じて内容を調整いたします。
- 児童会館の「宿泊学習」でもご利用になれます。

このプログラムを活用した方へのオススメ！プログラム

- 【理解】22 環境問題教室 (環境課)